

令和6年度 第1回総社公民館運営推進委員会
開催結果概要

全ての協議事項について、承認されました。

意見及び質疑応答の概要は以下のとおりです。

(A 委員)

事業計画の説明で、子育て・親子支援は、社会状況の中でも重点を置かれている中で、コマ数等多く、いろいろな事業を実施していますが、それに比べて、時代の趨勢でもあると思われるが、高齢者対象の事業が、計画を見ると1事業のみの高齢者教室となっています。

最近の傾向は、子育ての方にウエイトがあるように感じ、もう少し、リタイヤして昼間、時間が取れる高齢者向けの事業があってもいいと感じている。その辺も検討してもらえればと思っています。

ひとつ質問ですが、いきいきはつらつ教室等は、年齢要件はあるのでしょうか。

また、今年の講座は、何か予定はしていますか。

(事務局)

特に、年齢要件は、ありません。

総社地区の住民であれば、誰でも参加することができます。

今年度の講座は、認知症予防の講座を開催予定となっています。

(B 委員)

公民館の、活動、特徴として多彩な事業を展開していると思われます。

子育ての事業については、今までの伝統もあり、今後、さらに推進していただきたいと思っています。

もう一点は、総社歴史まちづくりの推進とアピールをより進めていってほしい。

(C 委員)

子供は、1歳を過ぎるとこども園に預けている人が多い。

すくすく教室等を開いても、参加要件を1歳からにすると、既にこども園に預けている人もいるので、首がすわっている7か月であれば、教室時にあずかることができると判断し、今回、公民館と検討しそのような年齢要件にしました。

保健師さんの話でも、離乳食講習会など、お父さんとお母さんが一緒に、こどもを連れてくることも多くなっている。父親が、随分育児に関わってきているとのこと。

高齢者の方ですが、地域の町の公民館でいきいきサロン等を、町社協との関りもあり、活発に行われていると感じています。

(D 委員)

今、こども子育て支援が、重点に置かれていると意見がありましたが、民生委員・児童委員も同じで、昨年あたりから、こども基本法ができて、こどもまんなか社会ということで、児童委員が強化されてきている状況である。

サマーチャレンジ教室は、なかなか学校では体験できない、親子料理教室、寺子屋スロー数学、こわいおはなしの会など企画してもらっているので、こどもたちにとっても身近な公民館として親しみがわくような、これをきっかけに公民館の行事にも参加してもらえることも感じ、すばらしい事業であると思う。

高齢者については、高齢になっても元気ではつつしてもらえるように各地区の町社協でもいろいろな取り組みを実施している関係もあり、公民館での事業は少なくなってきたのではないかと思われる。

(E 委員)

サマーチャレンジ事業等は、町では回覧で回していますが、学校ではどのように周知しているのか。回覧では、なかなか周知が難しいと感じている。

中高年、40 台、50 代の人たちが、あつまれる場所が必要と考えている。

(事務局)

今年度から、こどもが持っているタブレットに直接、メール（すぐー）で送信しています。

(F 委員)

食生活改善推進員の料理教室を企画しても、高齢者や、毎回同じ顔ぶれのひとの参加がみられる。前橋市内どの地区も同じ傾向である。

若い方の参加が少なく、特に朝の食事をきちんとバランスよくとることが健康に繋がるということで、重視している。

子育ての講座も、若い方が公民館の事業に参加するきっかけ作りということでも、いい事業であると思う。

(G 委員)

勝山小学校のこどもは、朝食は食べていると思われる。

サマーチャレンジは、公民館から直に情報が流せるので、各事業の周知は、スムーズに出来ている。学校としても、サマーチャレンジ事業は、学校ではできない教室なので、ぜひ参加してもらいたいと考えている。

(H 委員)

公民館自主学習グループの数も、減少してきており、昔は 40 グループほどあったが、今年度は 23 グループとなっている。

文化祭も、昨年、4 年ぶりに開催しましたが、舞台発表の参加者も減ってきていると感じている。